

## まえがき



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の状況について公表し、県民の皆様のご理解を頂いておりますが、今回は令和元年度実質当初予算と平成30年度下半期の財政状況についてご説明申し上げます。

最近の本県経済は、鉱工業生産指数や有効求人倍率が、引き続き全国トップクラスの水準で推移しているところです。

また、本県の財政状況は、これまで職員数の削減をはじめとする行財政改革に取り組んできた結果、平成24年度から基金の取り崩しに頼らない財政運営を行っており、7年連続で収支均衡を達成することができました。

しかしながら、今後、社会保障関係経費の増加に加え、北陸新幹線金沢・敦賀間の建設費等が大きな歳出圧力になると見込まれることから、引き続き、持続可能な財政基盤の確立に向け、中長期的な展望に立った財政運営に取り組んでいかなければなりません。

こうした状況の中、令和元年度実質当初予算では、東京オリンピック・パラリンピックや新幹線県内全線開業といったチャンスを実際に活かし、本県を日本海側のトップランナーへと飛躍・発展させるため、これまでの「個性・交流・安心」の取り組みをさらに深化、加速させていくこととしました。

具体的には、東京オリンピック・パラリンピックや、その後の新幹線県内全線開業を見据えた石川の個性の磨き上げと交流基盤を活用した交流の拡大、将来にわたり本県経済を支える強い産業づくり、そして、県政の基本である県民生活の安全・安心のさらなる確保に重点を置いて編成しました。

こうした重点課題に積極的に取り組むとともに、持続可能な財政基盤を確立するため、引き続き、行政経営プログラムに基づき、歳入歳出全般にわたる各種の改革を間断なく進めてまいります。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

令和元年 6月 1日

石川県知事 谷 本 正 憲

## も く じ

<b>第 1 令和元年度実質当初予算の概要</b> .....	<b>2</b>
Ⅰ 予算はどのような考えで編成したのですか。.....	2
Ⅱ どのような事業が盛り込まれているのですか。.....	3
Ⅲ 予算額はいくらですか。.....	6
Ⅳ 必要とするお金はどうやって賄うのですか。.....	8
Ⅴ 予算はどのような目的に使われるのですか。.....	10
<b>第 2 石川県の財政状況</b> .....	<b>14</b>
Ⅰ 石川県の財政状況はどうですか。.....	14
Ⅱ 今後の財政見通しはどうなりますか。.....	22
<b>第 3 平成30年度下半期の補正予算と決算見込みの概要</b> .....	<b>24</b>
Ⅰ 平成30年度下半期に編成された補正予算の主な内容は何ですか。.....	24
Ⅱ 平成30年度予算の執行状況はどうですか。.....	28
Ⅲ 平成30年度の決算見込みはどうですか。.....	29
<b>第 4 令和元年度当初予算を家計簿に例えると</b> .....	<b>30</b>
<b>資料編</b> .....	<b>33</b>